

2016/04/01より 小型バグキー GN206S が Ver UP し GN206W になりました

変更点

- ・ツマミが1枚から2枚になりました
- ・操作レバーにダンパーが付きました

シングルレバーのバグキーの場合ツマミが重いと

●親指で短点を出しツマミを離すと レバーは 中央の位置までバネで戻りますが 慣性モーメントにより 反対側(長点側) に多少行きます

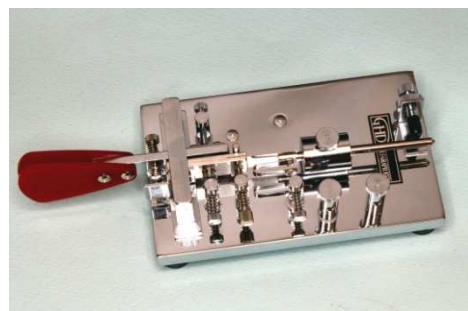
この時 長点の接点間隔が狭かったり 長点側のバネ圧が弱かったりすると 極短い短点が長点の接点により発生してしまいます

(交信を良く聞いていると 交信の最後の T E E が ツー ト ト では無く ツー ドッ ドッ と聞こえる局が有ります、これは この為です、この事はメーカーやモデルが違ってても原理的に発生します、但しこの音が濁って ドッ ドッ となるか ならないかは 長点の接点間隔やバネ圧の違いや指使いでも変わります)

●この逆に長点を出し 指を離すと レバーは中央まで戻りますが 上記と同じく慣性モーメントにより短点レバーが多少押され 短点レバーがピクリと反応します、これは特に実害はないのですが 見た目に良くは有りません、何れの現象も **ツマミが重い** ほど 顕著になります

●GN206Sは厚さ3ミリのツマミが1枚でしたのは **ツマミを軽くする為**でした

GN206Wはツマミの重さをなるべく軽くする為に 厚さ2ミリのツマミが2枚付いてします、更に上記の現象を軽減する為に操作レバーに**ダンパー**を追加しました
これにより **快適にバグキーをお楽しみ頂けます。**



ツマミが2枚になり、ダンパーが付いた GN206W

ご購入後左用に組替えが出来ます